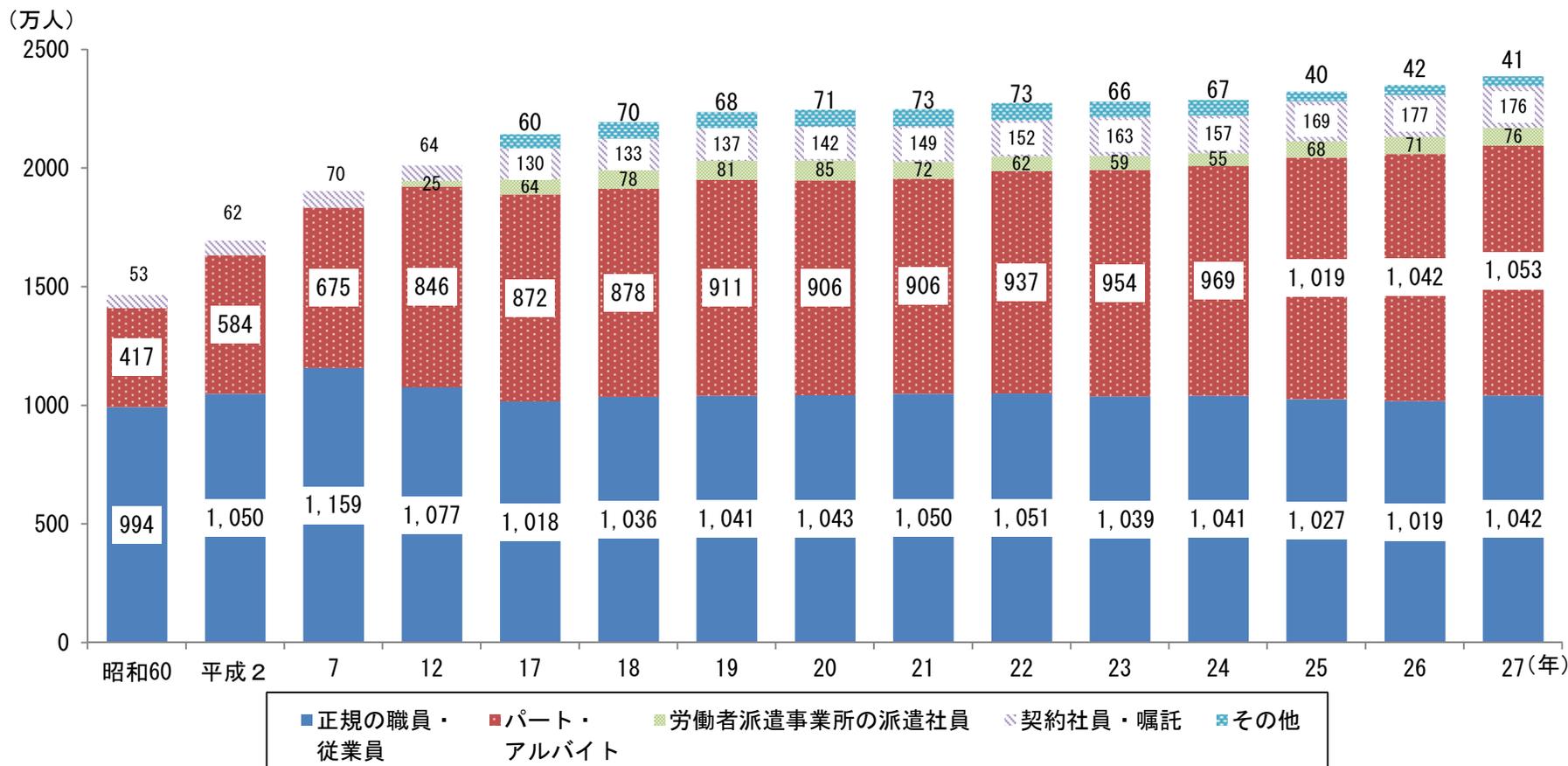


図表 雇用形態別雇用者数の推移(女性)

○ 女性の正規の職員・従業員数は、横ばいで推移している。他方、パート・アルバイトなどの非正規雇用者数は増加傾向にある。
 ○ 女性の約半数が、パート・アルバイトなどの非正規雇用者となっている。



資料出所：総務省「労働力調査特別調査」(昭和60～平成12年、各年2月)、「労働力調査(詳細集計)」(平成17～27年、年平均)
 注) 1. 労働力調査では、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、岩手県、宮城県及び福島県において調査実施が一時困難となったため、平成23年の数値は補完的に推計した値(平成22年国勢調査基準)である。
 2. 24年平均から算出の基礎となる人口を平成22年国勢調査の確定人口に基づく推計人口(新基準)に切り替えた。
 この切替えに伴う変動(全国の15歳以上人口で約69万人の増加)を考慮し、平成17年から平成22年までの数値について、平成24年以降の結果と接続させるため、時系列接続用数値(平成22年国勢調査の確定人口による補正ないし遡及を行ったもの)に置き換えて掲載した(比率は除く。)
 3. 平成13年以前の分類は、「嘱託・その他」(平成13年は「その他(嘱託など)」)。平成13年から、分類が「契約社員・嘱託」と「その他」に分割された。
 4. 労働力調査の改正により、平成14年1月から従来の労働力調査特別調査は、年平均の労働力調査(詳細集計)として公表されることとなったため、時系列比較には注意を要する。